



平成 28 年 9 月 9 日

各 位

上場会社名 正栄食品工業株式会社
代 表 者 代表取締役社長 本多市郎
(コード番号 8079)
問合せ先責任者 専務取締役 藤雄博周
(TEL 03-3253-1211)

通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 9 月 9 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向を踏まえ、平成 27 年 12 月 14 日に公表した平成 28 年 10 月期（平成 27 年 11 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日）の通期連結業績予想及び期末配当予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 11 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日）

(1) 平成 28 年 10 月期通期連結業績予想の修正内容

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	110,000	3,600	3,800	2,400	140.75
今回修正予想 (B)	101,500	4,200	4,200	2,750	161.28
増 減 額 (B-A)	△ 8,500	600	400	350	
増 減 率 (%)	△ 7.7	16.7	10.5	14.6	
(参考) 前期連結実績 (平成 27 年 10 月期)	106,748	3,352	3,595	2,602	137.72

(2) 修正の理由

連結売上高は、日本国内の販売状況におきましては、主要品目であるレーズン、クルミ、アーモンド等が、数量ベースでは伸長しましたが、海外相場の下落や急激な円高を背景に販売単価が低下し、また、海外売上高は、中国国内での販売は総じて堅調に推移しましたが、海外現法からの外部輸出実績が減少したことから、為替換算の影響も併せて、売上高が前回予想を下回る見込みです。

連結の利益面については、製菓・製パン業界やスナック・シリアル市場への販売増や、仕入・購買機能の強化と合理化設備投資など、生産性向上に努めた結果、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回る見込みです。

2. 期末配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (平成 27 年 12 月 14 日発表)	10 円 00 銭	10 円 00 銭	20 円 00 銭
今 回 修 正 予 想		14 円 00 銭	24 円 00 銭
当 期 実 績	10 円 00 銭		
前 期 実 績 (平成 27 年 10 月 期)	8 円 50 銭	9 円 50 銭	18 円 00 銭

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要課題と位置付け、また、中長期的な成長を実現するための事業投資と、内部留保の水準等を考慮し、安定的な配当を維持することを基本方針としております。

当期の配当につきましては、平成 28 年 10 月期の業績予想および食品業界を取り巻く経営環境を勘案して、期末配当金を当初予想の普通配当 10 円 00 銭から、4 円 00 銭を増配し 14 円 00 銭に修正するものであり、年間の 1 株当たり配当金の予想は、24 円 00 銭となります。

なお、期末配当金は、平成 29 年 1 月開催予定の第 69 期定時株主総会において付議する予定です。

(注) 上記の業績予想数値等は、現時点における入手可能な情報にもとづいており、実際の業績は、様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以上